



南小学校グラウンド

南小学校育友会では、5月25日自転車講習会を開きました。ルールを守って楽しい運転をしようと、毎年4年生以上を対象に実施しているもので、この日は210人が参加。校外指導部員らが停止、右折、左折の合図など約20ポイントにわたり1人1人指導。子供たちは、真剣な表情で受講し、安全運転を誓いあいました。

ルールを守って
楽しい運転！

広報はさみ

6

／

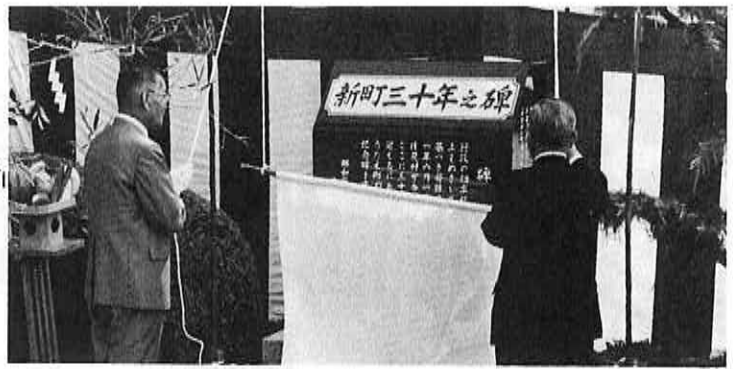
61

No.280

町の人口(5月末現在)

- ・総人口 15,927人
- 男 7,645人
- 女 8,282人
- ・世帯数 3,924世帯
- ・転入36人・転出27人
- ・出生23人・死亡 8人

30歳を祝う



役場庁舎前に建立された「新町三十年之碑」

式典・記念碑除幕式を開催

波佐見町誕生の親



上波佐見町長
福重武次郎氏



下波佐見町長
久松 清吾氏

さあ、新しい波佐見の出発です

六月一日、波佐見町は満三十歳の誕生日を迎えました。三十一年六月、上波佐見町と下波佐見村が合併。今まで数多くの先輩たちが、逆境と苦難に立ち向いながら、実り豊かな田園と伝統ある波佐見焼を受け継ぎ、農工一体の町として築き上げてきました。

私たちは、この波佐見町に住む誇りと責任をもって、先人の偉業を受け継ぎ、さらに輝かしい未来へと築いていかなければなりません。

三十周年の節目を迎え、私たちはさらに心をあわせ新しい波佐見の出発の年としたいものです。

町では、記念日の六月一日(日)、「新町三十年之碑」除幕式と記念式典を開催し、三十周年を祝いました。

「新町三十年之碑」除幕式

午前九時から、役場庁舎前で「新町三十年之碑」除幕式が行われました。

碑文には、「三十年の記念すべき年を迎えるにあたり先人のご功績をたたえ、町の限らない発展を祈り記念碑を建立する」と刻まれ、側面に歴代町村長、名誉町民、歴代議長、合併当時町議会議員など五十五人の名も記されています。式には、町議会関係者や各地区総代ら七十人が出席。福田町長、末岡議長が除幕を行いました。

記念式典

四十八人・三団体に

記念表彰

除幕式のあと、十時三十分から勤労者体育センターで、記念式典が行われました。町内外から約二百五十人が出席。福田町長が「今日の波佐見を築いた先人の方々に心から感謝するとともに伝統を

受け継ぎ、未来へ向って町の発展を期したい」とあいさつ。松尾県議らの祝辞のあと、記念表彰式が行われ、合併時の功績者への感謝状贈呈と特別表彰、各種功労表彰など四十八人三団体の方々がそれぞれ表彰されました。

また祝舞や、馬場忠峰先生收藏の中国古文物書道資料などの作品展も行われ、式典に花を添えました。(被表彰者の方々は次ページ)



▲体育センターでの記念式典

メッセージ

新町30周年にあたり名誉町民の福田清人先生から祝文をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。

「波佐見新町30周年を祝いて」

東京 福田 清人



幼い日、波佐見を離れた私が、時おいて帰郷する日に詠んだ俳句を句集に拾います。

1. 春の風峠隣りも陶の里

(有田で汽車を降り、刻々波佐見に近づくときの胸の高鳴り)

2. 神の子も追ひし日あらん赤とんぼ

(町の産んだ原マルチノを偲んで)

3. 曼珠沙華護岸工事の果の淵

(波佐見川下流の所見)

4. 麦の秋乗合馬車の思ひ出も

(私の小学生時代の交通今は1世帯0.8台平均の自動車とは)

5. 夏密柑枝に残して祖父は待つ

(母方の祖父倉蔵は夏休み私が行くのを待った。)

6. 祭笛祖父の献ぜし絵馬仰ぐ

(父方の祖父栄左衛門が氏神鹿山神社に明治15年奉納の絵馬を懐しく仰いだ日もあった。)

7. 麦踏みや農の血をひく吾が母系

(母は娘時代当時家族同様の牛を可愛がったという。)

8. 故郷の野に風薫り吾が碑建つ

9. 蛙まで喜び啼くか里帰り

(「8と9は」ふる里人の御厚意で昭和50年5月文学碑建ち、名誉町民に推された折の感激)

10. 竜胆や壺は故郷の波佐見焼

(愛する故郷の床の壺。)

「今年30周年の吉き日を迎える波佐見町よ、いつまでも緑豊かに水清く野鳥囀り、農工一体、平和に御発展あれとはるかに念じつつ、祝盃をあげます。

もちろん波佐見焼の大盃で」

波佐見町

満

6月1日 記念

記念式典の被表彰者の方々は次のとおりです(敬称略)

◆感謝状贈呈

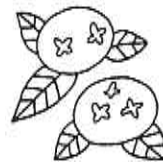
Table with 2 columns: Name and Number. Includes names like 折敷瀬郷, 川内郷, 佐世保市, etc.

◆特別表彰

Table with 2 columns: Name and Number. Includes names like 井石郷, 皿山郷, 三股郷, etc.

◆各種功勞表彰

Table with 2 columns: Name and Number. Includes names like 湯無田郷, 湯無田郷, 湯無田郷, etc.



30周年記念文化講演会

あいさつして下さるか？

三遊亭円楽氏「親から子どもへの贈りもの」



五月二十五日、勤労者体育センターで、落語家三遊亭円楽氏の「親から子どもへの贈りもの」と題する文化講演会が行われました。

円楽氏はテレビ・ラジオなどでは、もうおなじみ。会場では、近くから見ようとお年寄りらが早々に来場、「どげん落語ばさすっちゃろか」の声に係員もちよつと首をかしげる姿も見られ、開演の一時三十分には約八百人の入場者で満席となりました。

開演

あの独特の笑顔で登場。地方講演でのエピソードや大好きなマラソンランナー裸足の王者アベべの話。アベべは、

常に前向きでしたよ。けつして後を振り向かなかつたですね。彼は人一倍練習をした。自分の力を知って、自信を持ってただひたすら走った。自発的に動くことが大切。さらに同氏は、父の死で人生観が変わったこと、孟母の教え、拍手は血液の循環に最高など時折、ユーモアを混じえた話ぶりに会場からは、一段と高い拍手が沸いていました。

えば両親の肩をもちたり、毎日のあいさつを繰り返すことで、子供は、それを見て学び身につけていく」と力説しました。会場では、必死にメモを取る姿も見られるなど、久々の文化講演会に満喫した様子でした。

また「学校は学術形成が主であり、人格形成は家庭でなければならぬ。太陽と雨で万物みな育つ」とあるように、家庭では、おやじの厳しさ、母のやさしさがあって、バランスのとれた子供が育つ。

子・親・祖父母と年代の差はあっても、必ず共通した楽しい話題があるはず。愛と希望を持ちましょう。」と強調、さらに「相手を思いやる心。例



国保は今

昭和六一年度の国民健康保険の予算は、総額七億七千八百四万円、前年度にくらべて九十三%程度となり、予算全体の規模では前年を下回ったものとなっている。

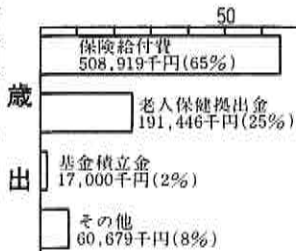
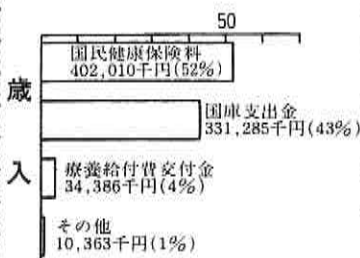
厳しい国の補助金

かといえますと、国民健康保険の事業は、おおむね国の支出金（補助金）と保険料によってまかなわれている訳ですが、国の支出金が最近急激に落ち込んでいることがあります。これは国の台所事情が非常に悪化してきていることによるものですが、現在の状況を考えますと、こうした傾向が急激に改善され国の補助金が以前の水準まで改まってゆくことは考えにくい状況にあります。

国民健康保険予算の大部分を占めている保険給付費（一般の被保険者分として町が支払うお金）と老人医療費拠出金（六五歳以上のわたかりの人及び七十歳以上の老人の医療費）に対して町が支払うお金）とがいずれも前年を下回ったことによるものです。一方、被保険者の皆さんにとって最も関心の高い保険料については、約十三%の上昇となっています。なぜこうゆうことになる

幸いにして、本町の医療費の状況はここ暫く安定して推移していますが、国民健康保険をめぐる環境は大変流動的で、予断の許されないものとなっております。国保事業運営の健全化のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

予算全体 7億7千8百万円

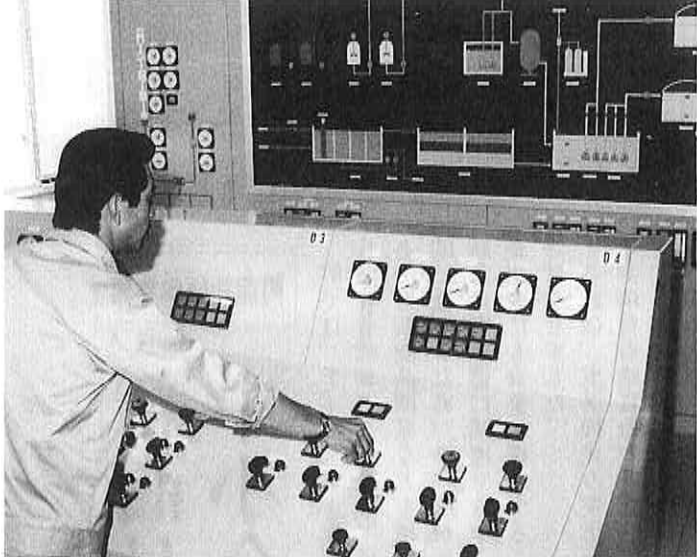


水道は喜ぶべきではありません

私たちの生活にとって、水はなくてはならない大切なものです。この大切な、かけがえのない水をみなさんの家庭をはじめ、会社、工場、学校、病院など、水を利用するあらゆる場所に送り届けるのが水道の役目です。私たちは水道のおかげで、じゃ口をひねればいつでもきれいで安心して飲める水を利用することができ、便利で衛生的な生活を送ることができるのです。

町水道はいつできたの？

波佐見町にはじめて水道ができたのは、中尾地区の簡易水道で、三十三年三月に給水をはじめました。今から二十八年も前のことです。当時の



職員は毎日施設の点検整備に努めています

給水人口は一、二〇〇人で、

一日の給水能力は一三五トンでした。したがってほとんどの

家庭が井戸水か、かけ桶を利用して湧水、谷川の水などを使っていたわけです。この水汲みの仕事は大変な重労働でしたが、どこの家庭でも子供たちが日課として受け持っていたようです。

町の水道延長は

百二十四キロ

時代が進むにつれて生活様式も改善され、水の使用量も増加してきましたし、水道施設も年々整備充実してきました。給水区域も拡張に拡張を続けて、現在ではほぼ町内の全域に配水管網を張りめぐらしています。この配水管の総延長は実に一二四キロメートルものほり、これを一本につなぎ合わせると佐世保駅から博多駅までよりも長い距離になります。

給水人口も一五、一九七人に増え、町内の九五・五％の人たちが水道を使っています。年間の給水量は八四万トンを超えていますので、一人当たりではドラム缶に二七六本分の水を使っていることになりました。

なやみの夕ネは水源

このように水をたくさん使っていただけのは大変ありがたいことですが、本町水道事業のなやみの夕ネは水源の問題です。水道専用のダムがないために、野々川ダムの放流水や、河川水、地下水などを集めて浄水場に送っていますが、上流で河川工事が行われたり、雨の日などはにがりがひどく、また、干ばつの時には急激に水量が減少しますので、思うように取水できません。現在ところ予備の水源をもっていきますので、まだまだ水量には余裕がありますが、今後増えつつける使用水量に対応するためには、たえず水源の開発をしなければなりません。しかし、水源の開発には長い年月と莫大な投資が必

要ですので、一朝一夕にできるものではありません。

新たな水資源は

むだな水を使わないこと

そこで最も簡単に新たな水源を求める方法を考えてみたいと思います。それは、この貴重な資源である水を一滴もむだにしないことです。漏水を防ぎ、むだをなくすことによってそれができるのです。水道管からの漏水を防止するために水道の担当者は二四

キロにもおよぶ配水管の点検・調査を続け、漏水箇所の補修や老朽管の取りかえに努めています。

私たちは、水道の便利さになれて、ついついふんだんに水を使う習慣が身につけています。このような生活習慣を改めて、むだな水を使わないことが新たな水資源を生み出すのと同じ効果が得られるのです。私たちの大きな財産「水道」を守るためにも、だれにでもできる身近かな水資源の開発にご協力ください。

企業会計

上水道事業

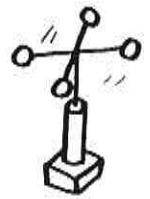
安定供給とサービス向上をめざします

水道事業会計は、独立採算による事業運営を建前としていますが、本町の場合地形的に、あるいは水源等の問題から給水効率が悪く、どうしても事業収入のみでの運営がむずかしいため、毎年度一般会計から補助金を受け入れて、なんとか収支のバランスを保っています。この一般会計からの補助金は、前年度の五千万円から今年度は六千万円に増やしています。水道事業の主要財源である料金収入は、

ここ数年伸びやんでおり、横ばいの状態が続いていますが、今年度は、給水戸数の増加分として〇・五パーセント程度の増収を見込んでいます。投資的事業では、高水圧のため漏水事故が多発している地域二箇所に減圧弁を設置するほか、老朽管の布設替え、未給水地区への配水管の延長などを実施し、給水の安定とサービスの向上に努めます。

町産地振興事業

新商品開発など 中小企業へ資金援助



町では、アイデアを生かし消費者のニーズ(思考)にあった新商品開発などを積極的に進めるため、今年度から新たに陶磁器に関連する中小企業者にも資金を援助することになりました。

これは、生活様式の変化などで消費者購買力が低下し、さらに替為相場の急変によって、陶磁器産業が一段と厳しくなっている状況から、町の産地振興事業補助金の適用範囲が拡大されたものです。

町では、五十六年度から波佐見焼産地の振興と活性化を図る目的で、事業を実施している肥前波佐見焼振興会(松尾勝美会長六組合)に、同補助金を交付してありますが、今回の措置で、補助金の交付対象が広まったということになります。

予算的には、産地振興事業補助金一千万円のうち、中小企業者分として当初予算五百万円が計上されています。

中小企業者への助成の条件としては、新商品開発が必要開拓のいずれかの事業が必要

で、特に新商品開発事業での製品は、まだ市販されていないもので、波佐見焼の知名度の高揚に貢献できるものとなっています。

この産地振興事業補助金を希望される方は、次により申請してください。

◇補助対象事業者

商工会・事業協同組合及び肥前波佐見焼振興会のいずれかに所属する中小企業者で、その所属長の推せんを受けた者。

◇補助対象事業及び補助率

一、新商品開発事業…二分の一以内
(事業内容)

○新原材料の活用による新商品開発

○新しい商品開発のため新しい生産技術の研究開発

○既存陶磁器の大幅な改良または異業種との組合わせなどによる陶磁器商品開発

二、需要開拓事業補助率…二分の一以内

○波佐見焼の知名度を高めるため、本町で開発され

た新商品などの宣伝や新しい市場開拓

◇補助限度額

百万円以内で町予算の範囲内とする。

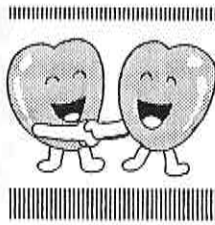
◇補助の決定

窯業関係機関や知識経験者との協議により決定する。

◇申請方法

町が定める申請書(事業計画書等)、推せん書及び決算関係書類を提出してください。

※詳しいことは、役場商工係へおたずねください。
(☎八五二二一一番)



愛 それは 献血

《愛の血液助け合い運動》
7月1日~31日

年中放送されているラジオ体操ですが、何となく夏の季語のように感じます。

夏休み中には、各地でラジオ体操の会が行われたりして、体操人口が増えるからでしょうか。また、夏には、夏季巡回ラジオ体操ということ、全国各地のラジオ体操会の会場から

の中継放送が行われますし、年一回の中央大会も夏にあります。今年の中央大会は天皇陛下御在位六十年記念ということで、東京の神宮外苑で八月三日に開催されます。

NHKラジオでラジオ体操が初めて放送されたのは、昭和三年十一月一日のことです。戦後一時中断しましたが、その後今日までずっと続いているわけです。ラジオ体操というからにはラジオで放送されるわけですが、ラジオだけでなく、現在はテレビからも放送されています。NHKテレビのテレビ体操のなかで、ラジオ体操をや



歳時記

ラジオ体操

っているのです。テレビだと体の動かし方が目に見えていいからと、高齢者の方などにも人気があります。それと、このテレビ体操の新しい利用法が静かなブームになっているようです。朝の六時半に起きるのはつらいとか、朝はあわただしくて、という人がビデオでこの番組を録画しておいて、自分の都合のつく時間に体操するわけです。

ところで、健康づくりと共に最近大きな関心を集めているのが安全の問題です。七月一日は「国民安全の日」です。この日が制定されたのは、昭和三十五年、高度成長で労働災害などが増加した時期です。七月一日としたのは、この日から一年の後半が始まるので、気をひきしめていこうということだそうです。

わたしたちの身の回りには危険がいっぱいあります。この日にあたって、暮らしの中の安全点検を習慣化した

ものです。

シリーズ

まち
づくり

その3

今、波佐見を
考える

このコーナーでは「まちづくり・今波佐見を考える」と題して、町民の皆様からの「意見を登載し、みなさんとともに郷土・波佐見を考えたい」と思っています。

惣菜は波佐見産
器は波佐見焼き

中尾郷 田 淵 博 喜 (製陶業・26歳)



オを収録したりして、細かい動きが必要だと思います。それらを広く町民からも収集し、町の商工企画課と町のアイデアマンで協力し、分析し、いくつかの柱に区切った概念をつくる作業が必要です。

で、器は波佐見焼」といって考え方もあります。その為には、農芸も陶芸も、他産地よりも特別に意味があり、しかも現代人の欲求を満たさなければ話題にもなりません。一方では、その為の技術や発想を生み出す人材育成が不可欠となります。そういう意味で、私自身小さな努力ですが製陶業のイメージアップを計っております。地元一般的に窯焼きのイメージを若者に聞けば、「暗い/不景気だ/ほこりっぽい/安っぽい/等々」のイメージだそうですが、その上現在の現役に活躍のデザイナーは、波佐見町以外の人達ばかりなのです。町民の人として情無い話であります。会社全体の経営と企画デザイン、営業を行っている私は、作陶展を開いたり、送迎用の

車を夢ある色で塗ったり、やきもの自身を、夢のある素材なイメージで型や加色を現代人専用で考えた活動をしています。おもしろい事に今年三月に佐世保で開いた作陶展のアンケート用紙の中で、波佐見焼のイメージを聞いてみたら「有田焼より素材で人情の厚さを感じます」とか「百円の茶碗のイメージです」。「一度、窯へ見学に行きます」。「有田焼に負けんごと頑張ってます」。「等々のおもしろく励ましいの言葉をかけてもらいました。こういう人々の参考意見を、自分自身で噛み締めながら、器文化の日本人のすばらしさや大衆が今何を求めているのかを感じることができます。また、その事により自分の意識を越えたい自分の欲望と、それを楽しんで使って

私は、波佐見町でもっとも情緒深き陶芸の里、中尾郷に生まれ育ち二十六年、波佐見町を愛し、波佐見に生まれた事を誇りに感じております。今からの波佐見を考える事は世の動きを、情報として分析し、どのような心(思想)を表現するかだと思います。町にとっての情報とは、愛と夢のある、活発な動きを実行している市町村村に向き、その動きの思想はどのような意味なのか、目的計画はどのようなに進めたのか等々を、情報収集員が記録したり、ビデオ

他の町を詮索すればするほど我が町の良さや生かし方は、徐々に理解できていると思えますし、他の町で出会った集団や情熱あるリーダーに感激して、それに負けないような波佐見町を創造したいと確信できるのでは。私自身の町の構想は、詮索体験が少ないので自信ある発想ではありませんが、「愛と夢のある陶芸の里」という思想テーマはあります。観光地として、農産物と陶芸を、土の匂いと食文化でくつつけて、「惣菜は波佐見産

各地で作陶展を開きイメージアップを計っています」と意欲満々の田淵さん。



「各地で作陶展を開きイメージアップを計っています」と意欲満々の田淵さん。

くれている大衆の笑顔が浮かびます。それが私自身の生きがいです。以上をまとめてみますと次のようになります。一、スタッフ(情報収集員)を作る。二、他市町村のビデオ収録。三、町の構想。四、町民の意志統一。五、実行委員会を作る。六、実行する。この計画を三年、五年、十年計画で進めれば最終的に良い結果が来るべき二十一世紀に誇り得る、活力に満ちた、心豊かな地域社会が実現できるのではないのでしょうか。

みんなの広場・みんなの広場・みんなの広場・みんなの広場



村木、折敷瀬の激しいトップ争い(1,000mメドレーリレー)

◀村木 2年ぶり総合優勝!

—第31回町青年団陸上大会—

第三十一回町青年団陸上競技大会が、五月十八日波佐見中学校グラウンドで行われました。大会スローガンを「かっとなを」と掲げ、青年団の夢と情熱を」と掲げ、団員百四十人は走り・跳び・団結の輪を広げました。

二十七競技のうち、得点競技は二十四種目行われ、その結果、村木支部が見事二年ぶりに総合優勝を飾りました。また、競技のあい間に町婦人会員も応援出場、波佐見音頭などで大会に花を添えました。競技の主な結果は次のとおりです。

総合の部

第一位||村木・第二位||折敷瀬・第三位||湯無田

男子の部

第一位||村木・第二位||折敷瀬・第三位||鴻ノ巣連合

女子の部

第一位||折敷瀬・第二位||村木・第三位||井石

◎新記録誕生

▼一〇〇〇Mメドレーリレー

村木・二分十七秒〇四

▼女子砲丸投げ

山下美穂子(折)九M〇一

▼1日郵便局長に

田沢大助さん(伝統工芸士)

通信記念日の4月21日、波佐見郵便局の1日郵便局長に田沢大助さん(井石郷)が就任されました。



活躍

少林寺拳法波佐見

—日本少林寺拳法第9回長崎県大会—

5月25日、佐世保市振興体育館で少林寺拳法長崎県大会が開かれました。本町から少林寺拳法波佐見チームが出場。小学4年以下の部で優秀賞を2人が獲得するなど輝かしい成績をおさめました。

〈主な結果〉

◎小学4年以下の部

優秀賞 北村良太(折)

〃 松尾潤兵(井)

努力賞 高坂勇次(宿)

〃 瀬井和文(折)

◎一般の部

入賞 山口次郎(宿)

〃 一瀬邦洋(〃)



活躍した少林寺波佐見の選手たち



みんなの広場・みんなの広場・みんなの広場・みんなの広場・みんなの広場

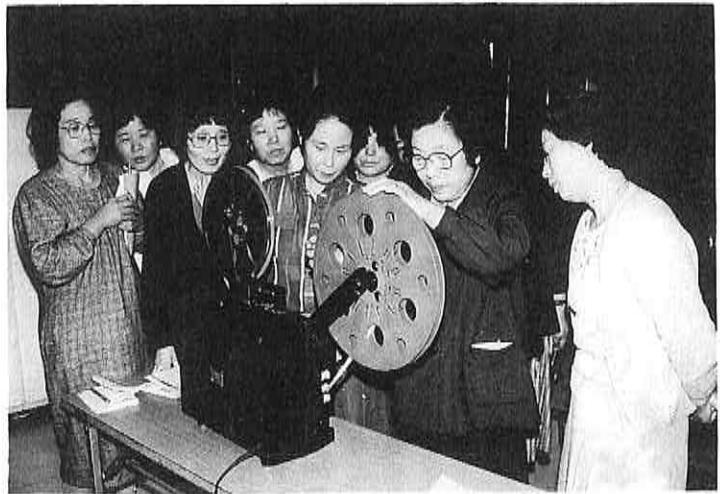


力作ずらり 波佐見焼をPR

波佐見陶交会・長崎新聞社共催の伝統工芸品「波佐見焼展」が5月11日～5月18日まで長崎新聞文化ホールで開催されました。日用食器としてなじみ深い波佐見焼の良さをより多くの人に知ってもらおうと毎年開かれているものです。会場には、陶交会員の力作約1,000点が並べられ、訪れた人たちの人気を呼んでいました。

婦人会教養部が 映写機講習会 (5月22日・町公民館)

昨年に続き2回目で、この日は20人が参加し、社会教育課職員の指導で、フィルムセット、巻き戻し、故障時の処置方法など基本的操作を学びました。今後各地区で活発に映写会が開かれることでしょう。



▲力強く選手宣誓をする渡辺要一選手(ジャイアンツ)

町軟式野球協会リーグ戦開幕

六十一年度町軟式野球協会リーグ戦が、五月十八日鴻ノ巣グラウンドで開幕しました。

同協会は、「野球を通して、仲間の和を広げ、スポーツの振興と明るい町づくりを目指そう」を掲げ、四十七年に誕生し、今年でちょうど十五周年を迎えます。現在十一チーム、二百五人

鴻ノ巣・コスモス快調な滑り出し

が加盟。この日は、八試合が行われ、鴻ノ巣・コスモスが二勝と快調な滑り出しを見せたのに対し早くも三年連続の覇者ジャイアンツが、鴻ノ巣、メッツに敗れるなど波乱の幕明けとなりました。また、今季からボールが新型A号に変わり、飛距離がグリーンとアップするとか?…その証拠に、前年度七本塁打に対し早くもこの日、四本塁打がとび出し、今季の打撃戦を注目したいところです。





「肝炎」

東彼医師会

岩 永 紘 一 (東彼杵町)

私たちの願いは、何といつても健康です。このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病気やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

- (1) 肝炎ウイルスによる肝炎
 - (a) A型肝炎 (b) B型肝炎
 - (c) 非A非B型肝炎
- (2) 全身的なウイルス感染に伴う肝炎
- (3) アルコール性肝炎その他薬剤性肝炎などがあるが、普通、肝炎という時は(1)のウイルス性肝炎の事をいっている。

急性肝炎とは「急性に起こる肝臓の炎症」で二〜三か月でなおり、肝臓の炎症が六か月以上続いているのは慢性肝炎という。

「急性肝炎の症状」
 発熱、全身のだるさ、食欲がなくなる、尿が濃くなる、黄だんなどでB型肝炎では発熱はあまり起こらない。

「治療」は安静と食事療法が基本となる。

「急性肝炎(特にA型肝炎)の予防」
 A型肝炎ウイルスは発病後約二週間は糞便に排せつされ、熱に弱く一〇〇℃、五分で死滅するので食前、排便後の手洗いをよく行い、食物はなるべく火を通した物を食べる。貝類特にカキの体内に肝炎ウイルスが濃縮され存在する事が考えられるので流行期のなまのかきは避けた方が望ましい。



見つめ直したい

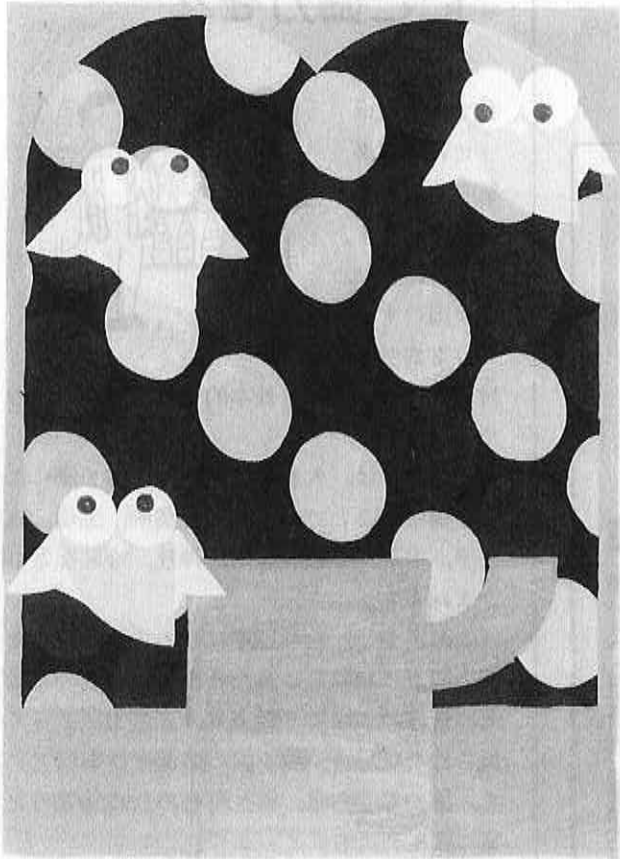
栄養バランス

健康づくりのための食生活指針

- 1 多様な食品で栄養バランスを
 - 1日30食品を目標に
 - 主食、主菜、副菜をそろえて
- 2 日常の生活活動に見合ったエネルギーを
 - 食べすぎに気をつけて、肥満を予防
 - よくからだを動かし、食事内容にゆとりを
- 3 脂肪は量と質を考へて
 - 脂肪はとりすぎないように
 - 動物性の脂肪より植物性の油を多めに
- 4 食塩をとりすぎないように
 - 食塩は1日10グラム以下を目標に
 - 調理の工夫で、むりなく減塩
- 5 こころのふれあう楽しい食生活を
 - 食卓を家族ふれあいの場に
 - 家庭の味、手づくりのこころを大切に

私達の健康は、毎日の食生活でどのような食品をどのように調理してどれだけ食べるかによって大きく左右されます。現在の私達の食生活は、平均的には栄養状態は良好なものとなっていますが、個々の世帯、個人についてみた場合には食生活をとりまく環境の急速な変化に伴ないいろいろな問題が生じています。そこで厚生省は、昨年日本人の食生活において特に留意すべき事として「健康づくりのための食生活指針」を発表しました。波佐見町では食生活改善推進員の皆さんがそれぞれの地区で、食生活改善のために活躍されています。今なぜ食生活の改善が必要か。今一度あなたの食卓を見直してみませんか。今月号からシリーズで、「食生活」についてお届けします。食生活についての悩み、ご意見をあなたの地区の推進員さんにお寄せください。

▼準特選に輝いた末富さんの作品



緑化ポスターコンクール



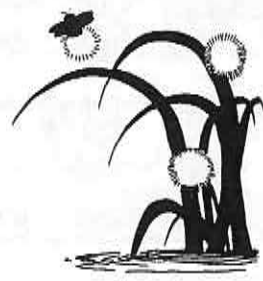
六十年年度の国土緑化運動ポスターコンクール中学生の部で、波佐見中学校三年・

準特選
林野庁長官賞
に輝く

末富 君子さん

(波中三年・協和郷)

末富君子さん(協和)が見事準特選(林野庁長官賞)に選ばれました。
五月十三日、大阪府堺市で開かれた全国植樹祭で表彰式が行われ、末富さんも出席、林野庁長官から、賞状と記念品を受け取りました。
「準特選と聞いたのは、昨年十二月末ごろ。まさか入



選するとは思っていませんでした。本当にうれしかったです。これからもいろんな絵を描きたいですね」と受賞の喜びを語ってくれました。
末富さんの今後の活躍を期待します。

豊かな老後を迎えるために

国民年金には他の年金制度にはない保険料の免除制度があります。保険料の免除をうけた期間は、年金をうけるための期間として算入されますが、免除の期間は保険料を納めていませんので将来受ける年金額は「三分の一」に減額されます。豊かな老後を送るためにも免除申請は慎重にされますよう

国民年金は、農業、自営業者とその配偶者及びサラリーマンの奥さんでも夫の扶養になつていない人などの第一号被保険者については、一カ月七、一〇〇円の定額の保険料を納付していただくことになっていきます。また、国民年金は四十年という長い期間加入しなければなりません。この長い期間のうち、一時的に納付困難が生じることも考えられます。このようなことから、

年金だより

納付でお困りの方は

免除申請を!!

お願いします。
なお、申請免除の基準は次のとおりです。

- (1) 所得がないとき。
 - (2) 被保険者またはその世帯の人が医療扶助を受けているとき。
 - (3) 地方税法に定める障害者または寡婦であつて、年間の所得が一〇〇万円以下であるとき。
 - (4) その他保険料を納めることが著しく困難なとき。
- くわしくは、役場年金係へおたずねください。



ペチュニア

ひろば

係までお知らせください。

ご利用ください

町民霊園(残り80基です)

町では、墓地がなくて困っている人のために、町民霊園をご利用いただいております。

ご希望の方は、役場保健衛生課におたずねください。

使用料は、永代使用料 13万円

年額使用料(管理料) 1,000円



事業所統計調査 にご協力を!!

7月1日現在で、全国いっせいに“事業所統計調査”が行われます。

この調査は、我が国のすべての事業所を対象とする国の最も基本的な統計調査の一つです。



事業所とは、人が賃金や報酬を得て働いている場所のことで、店舗や営業所、工場、官公庁、病院、学校のほか、神社、寺院なども含まれます。

この調査は、昭和22年に初めて行われ、今回の調査は14回目に当たります。全国の事業所の皆様のご協力と調査員のご尽力によって得られた統計は、我が国の産業の見取図として、国や都道府県、市区町村の行政施策の立案に広く利用されています。

今回の調査も、これまで以上に役立つものとなるように、皆様のご協力をお願いします。



オーケストラがやって来る 入場券発売中

新町30周年記念事業として九州交響楽団演奏会が催されます。多数ご来場ください。

期日 7月12日(土)午後6時30分開演

会場 体育センター

入場料 大人1,000円、高校生500円、小中学生300円

演奏曲目

チャイコフスキー作曲「ロメオとジュリエット」ほか7曲
○入場券は、7月10日までに次のところでお求めください。

(1)波佐見町公民館(2)役場(3)勤労福祉会館(4)改善センター
※公演についてのお願

- (1)演奏中に席を立ったり、出入りはできません。
- (2)演奏中の私語は、つつしんでください。
- (3)会場では、時計のアラームセットは解除ください。
- (4)写真撮影・録音等は、ご遠慮ください。
- (5)乳幼児の入場は、ご遠慮ください。

※当日券の方は、2階席又は立見席になることがあります。

交通事故のご相談は お気軽にどうぞ 無料でご相談に応じております

午前9時半～午後4時40分(平日)
土曜日は正午まで(第2土曜日は休みます)

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
◎弁護士相談日：毎週水曜日午後1時～4時

社団法人 日本損害保険協会
長崎自動車保険請求相談センター

長崎市万才町7-1 住友生命ビル11階
長崎調査事務所内
☎0958-24-2571(直通) 0958-26-7396
電話のご相談もお受けします

**7月6日(日)は
衆議院・参議院選挙
の投票日です**

あなたの一票で
明るいまちづくり
もれなく
投票しましょう!!

お知らせ

★掲載ご希望の方は役場企画

いっしょに考えましょう

「愛のテレホン・子ども相談室」

波佐見町教育委員会では、子ども自身の悩みや子どもを持つ親の悩みの相談に応じるため、電話や面接による相談室を5月19日から設置しました。

相談員は社会教育指導員です。秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

***相談日**

毎月第1・第3月曜日 正午から午後8時まで。

開始日 昭和61年5月の第3月曜日(5月19日)から開始します。

ただし、相談日が休日にあたる場合は、翌日(火曜日)となっています。

***場所・電話番号**

波佐見町公民館「愛のテレホン・子ども相談室」

0956-85-2034番

波佐見町折敷瀬郷1675番地1

自衛官募集

◇一般幹部候補生

資格 大学卒業者(見込を含む)で26歳未満の者

※ 大学院修士課程修了者は28歳未満

受付期間 6月1日(日)～7月5日(出)

試験日 7月10日(休)

試験場 大村市コミュニティセンター

◇婦人自衛官(陸)

資格 18歳～25歳の女子

受付期間 5月26日(月)～7月5日(出)

活用

三十周年記念

町勢要覧

町では、「新町三十周年記念町勢要覧」を五月に発刊し、町内のご家庭へ配布しました。町のおいたちから、役場のしくみ・議会・産業・まつり三十年のあゆみなど、バラエティーにレイアウトし、写真も約百五十点と豊富に組み入れていきます。ご家庭やグループなどでは是非活用ください。なお、一部訂正所がありましたので下表のとおりお知らせします。

町勢要覧正誤表

◎七ページ(故今里廣記氏略歴)

○「六十年春藍綬褒章・勲一等瑞宝章を受章」

○「四十五年藍綬褒章・五十四年勲一等瑞宝章・六十年正三位勲一等旭日大綬章を受章」

◎二十五ページ(無線通信システム)

○「無線機を庁用車」

○「無線機を庁用車」

◎四十七ページ(三十年の歩み)五十年の中に、五月、福田清人氏に「名誉町民」の称号を贈る…を挿入する。

◇資料編(別冊緑色)

◎二ページ(④産業別就業者の推移)

○「五十年女子総数二四〇一」は、(正)「三八九六」

◎十五ページ(各種施設等一覧表)

○「波佐見川棚農村環境改善センター」

○「波佐見町農村環境改善センター」

○「波佐見町農村環境改善センター」

○「波佐見町農村環境改善センター」

(Tel 大村 ②一六二一七番)

善意の窓

- 香典返しにかえて
- 湯無田郷 尾古 恵次様
- 御子息故尾古大輔様
- 中尾郷 松尾 佳明様
- 御夫人故松尾千代子様
- 川内郷 山本 清一様
- 御尊父故山本貞美様
- 井石郷 金氏 計徳様
- 御母堂故金氏カツ様
- 折敷瀬郷 中村 健児様
- 御尊父故中村勇次郎様
- 川内郷 谷村 富次様
- 御母堂故谷村キソ様
- 宿郷 白藤 孝子様
- 御息女故白藤里美様
- 永尾郷 福田 マスエ様
- 御主人故福田義人様
- 井石郷 神近 ミヤ様
- 御義兄故山口義夫様
- 折敷瀬郷 藤川 柁様
- 御母堂故藤川ハツ様
- 湯無田郷 長崎屋 孝様
- 御子息故長崎屋孝太郎様

来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料
- 固定資産税

蔵書230冊を寄贈

協和郷出身 富永春一さん
(横浜)

本町協和郷出身で横浜在住の富永春一さん(富永商事代表)が町公民館の図書充実のためにと、蔵書230冊を寄贈されました。

富永さんは本町で教師をされた後上京、会社を興こされた方です。先般の「わが村は美しく全国コンクール表彰式」の折出席され、寄贈の申し出をされていたものです。町公民館では富永さんの郷土愛とご厚意に感謝し、さっそく図書館に収蔵いたしました。皆様のご利用をお待ちしています。

- 乙長野郷 工藤 キツ様
- 御令姉故中里ミツ様
- 折敷瀬郷 蒲池 時吉様
- 御夫人故蒲池恵美子様
- 中尾郷 田崎 シヅ様
- 御主人故田崎直様
- 折敷瀬郷 増田 恵子様
- 御主人故増田章治様
- 永尾郷 楠本 菊夫様
- 御母堂故楠本ソヨ様
- お見舞返しにかえて
- 小樽郷 太田 修様
- 以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
- それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
- 波佐見町善意銀行
- 社会福祉法人
- 波佐見町社会福祉協議会
- 会長 福田 寛吾

お誕生おめでとう

- | 子の名 | 親の名 | 住所 |
|-------|-----|------|
| 溝口みさき | 昭弘 | 永尾郷 |
| 中嶋 謙太 | 一彦 | 永尾郷 |
| 溝口 真由 | 誠 | 永尾郷 |
| 小柳 拓也 | 信夫 | 永尾郷 |
| 常松久美子 | 昇 | 永尾郷 |
| 小田 和生 | 信次 | 小樽郷 |
| 佐原 政樹 | 昇 | 湯無田郷 |
| 福田 史慶 | 和利 | 湯無田郷 |
| 吉武 竜太 | 宏美 | 湯無田郷 |
| 中尾由香里 | 光昭 | 井石郷 |
| 豊田 巧大 | 道則 | 折敷瀬郷 |
| 岩崎 寛 | 勝 | 折敷瀬郷 |
| 川浦 和明 | 法道 | 折敷瀬郷 |
| 馬場 希帆 | 保徳 | 宿郷 |
| 山下 泰裕 | 博幸 | 宿郷 |
| 山下 由紗 | 憲治 | 村木郷 |
| 平尾 健 | 英明 | 皿山郷 |

ご結婚おめでとう

- 池田 史也 良徳 稗木場郷
- 森本 千裕 英二 乙長野郷
- 馬場加奈子 文哉 協和郷
- 宮崎 圭太 武 協和郷
- 松下 直樹 喜光 協和郷
- 川端 満夫 佐世保市
- 浦川 幸子 湯無田郷
- 岩永 明弘 井石郷
- 小林喜美子 三股郷
- 高島 新治 川棚町
- 中嶋ちづる 折敷瀬郷
- 後藤 章 兵庫県
- 久田松孝子 宿郷
- 松本 春彦 佐世保市
- 三根れい子 宿郷
- 朝長 義之 村木郷
- 豊田ひろみ 川棚町
- 朝長 博臣 村木郷
- 山下かおり 田ノ頭郷
- 青木 強敏 西海町
- 中尾久美子 皿山郷
- 浦 吉隆 川棚町
- 黒崎美智子 田ノ頭郷
- 前橋 史典 山内町
- 谷村 藤子 協和郷
- 松本 良仁 協和郷
- 山元 雪枝 長崎市

おくやみ申し上げます

- 太田 イサ 中尾郷 90歳
- 丸尾 多市 永尾郷 74歳
- 瀬川 キン 井石郷 85歳

くらしの情報

ねらわれる若者と高齢者
若者を対象に、化粧品、健康食品、旅行クーポン券を路上でキャッチセールスしたり電話で呼び出し抽選で当たったなどと高額な英会話教材の売り込みや、高齢者を対象に甘い言葉や信心がらみで近づき、退職金や、コッソツと貯めたトラの子をねらわれるなど多くの被害がでています。

甘い言葉には絶対

のらないように
しましよ



- 松井 タミ 鬼木郷 82歳
- 高尾常太郎 金屋郷 93歳
- 中村 國利 皿山郷 77歳
- 守田 キマ 田ノ頭郷 84歳
- 高月 秀助 川内郷 74歳
- 先月号の「おくやみ申し上げます」のコーナーで山下好子(小樽郷)56歳は70歳の誤りでした。訂正し深くおわびいたします。